

## W-3-2

### 日本語同格名詞句から見る名詞句の機能について

眞野美穂（鳴門教育大学）<sup>1</sup>

#### 1. はじめに

本発表では、名詞句の性質と機能について検討するため、日本語の同格名詞句の分析を行う。同格名詞句(nominal apposition)とは、(1)や(2)のように2つの名詞句が並び、両者が文中で同じ役割を担い、同じ対象を表す構造であり、様々な言語で観察されるものである。

- (1) a. 我々 学生は...            b. 京都大学特別教授 本庶佑は...  
(2) a. We, students,...        b. Tasuku Honjo, distinguished professor at Kyoto University,...

しかし、日本語の同格名詞句についての先行研究は限られており、未だその統語構造については解明されていない部分が多い。そのため、その定義や範囲についても結論はまだ出ていないが、本発表では同格名詞句の条件については、眞野(2016:27)で提案した以下の条件をすべて満たすものとする必要条件を踏襲する<sup>2</sup>。

#### 日本語同格名詞句 [NP1 NP2] の必要条件

- (音) アクセントが一語化しないもの
- (格) どちらの名詞句を削除しても文法的であるもの
- (意味) 指示対象が同じであり、片方の名詞句を削除しても文の意味が変わらないもの

同格名詞句においては、何の形態素の介在もなく名詞句間の意味関係が解釈可能である。また、その名詞句間の語順には(1'), (2')のように制限があるため、同格名詞句に生じるそれぞれの名詞句の持つ特性と、それらの間の関係がどのようなものであるかを分析することで、名詞句が持つ性質と機能の解明につながると考える。

- (1') a. \*学生 我々は...        b. 本庶佑 京都大学特別教授は...  
(2') a. \*Students, we...        b. Kyoto University distinguished professor, Tasuku Honjo,...

本発表では、構成名詞句の持つ特性と名詞句間の関係を検討し、英語の同格名詞句の特徴と対照することで、日本語同格名詞句の性質を明らかにする。そして、「AはBだ」というコピュラ文の関係を仮定することで、その性質が説明できることを主張する。

#### 2. 同格名詞句についての先行研究とその問題

<sup>1</sup> mmano@naruto-u.ac.jp

本研究は、科研費基盤研究(C)18K00615「日本語名詞の意味機能と統語的特性：同格名詞句と文法化現象からの検証」の研究成果の一部である。

<sup>2</sup> 「学生 三人」のように数量詞が後部要素に生じる構造を扱った研究は多数存在する。どのように包括的な分析が可能かは、今後の課題である。

## 2.1. 日本語同格名詞句についての研究

### ➤ 小林 (1996)

小林 (1996) は、同格関係を表す N1 と N2 の間には意味的ヒエラルキーが見られ、配列や語順を制約していることを指摘している。また、[N1 N2] に見られるとした意味関係について、「N2 は具体的な実体を示し、N1 はそれを引き立て強調するために添えられたもの。意味の主眼は N2 で、N1 はそれを修飾または補うもの (p.8)」であるとしている。

### ➤ 森山 (2016):

森山(2016)は、同格名詞句（森山は「名詞句並置型同格構造」と呼ぶ）について、小林(1996)の分類を、(3)のように再整理している。

- (3) a. 例示同格<sup>3</sup>：メンバー例を本体名詞に前置：みかん、レモン等 柑橘類  
 b. 境遇性同格：境遇性のある名詞を本体名詞に前置：我々 日本人  
 c. 別称同格：タイトルや言い換えを表す名詞を本体名詞に前置：  
 ふぐの店 田中本店、IOC 国際オリンピック委員会 （森山 2016: 67）

また、「境遇語、例示、別称の部分は、前項名詞となるのであって、後項に来る名詞のいわば前置きとなっているのである。意味の中心は最後部の名詞にあり、名詞並置型の同格構造は、最後部の名詞を本体名詞（主要部）とする内心構造と考えてよい。(p.68, 下線は発表者による)」と述べている。

### ➤ 眞野 (2016, 2017):

眞野 (2016)は、固有名詞を含む同格名詞句をコーパス (BCCWJ) から収集し、それを分類し、生じる語順を表 1 のようにまとめている。また、同格名詞句をその特徴から(4), (5)のように分類し、小林 (1996)や森山 (2016)が中心を NP2 と考えたのは、その分析対象が基本的に(4a), (5a)に当たるものに限定されるものであったことに起因する可能性を指摘。

表1. 固有名詞と共に生じる名詞句の種類と出現位置（眞野 (2016:33) を一部改変）

名詞句の種類		位置		例
代名詞句	a. 再帰代名詞類	×	○	ユウキロックさん ご本人
	b. 人称代名詞	○	×	我々 日本人
名詞句	c. 親族名称	○	○	父 覚恵
	d. 属性（肩書き）	○	○	イギリス首相 チャーチル
	e. 属性（その他）	○	×	ツアコン 藤木さん
	f. 非飽和名詞	○	×	隣国 美濃
	g. 別称	○	×	花の都 パリ
	h. 状態名詞	○	×	首位 近鉄

<sup>3</sup> 「例示同格」については、片方を削除した場合必ずしも同じ指示対象を表さず、第一節であげた条件を満たさないため、本研究では同格名詞句として扱わない。

- (4) a. NP1 (人称代名詞) + NP2 (固有名詞) : 我々 日本人  
指示対象の指示 指示対象・性質の強調
- b. NP1 (固有名詞) + NP2 (再帰代名詞) : ユウキロックさん 本人  
指示対象の提示 指示対象の強調
- (5) a. NP1 (名詞) + NP2 (固有名詞) : 祖国 日本  
性質や状態を叙述 NP1 の値を指定 :
- b. NP1 (固有名詞) + NP2 (名詞) : ヴィクトリア 英女王  
指示対象の提示 性質や状態を叙述・強調

眞野 (2017)は、さらに二つ以上の名詞句からなる(6)のような同格名詞句を対象に、その語順の制限や意味の分析し、同格名詞句が基本的に指示機能を担う名詞句と叙述機能を担う名詞句からなること、それらの間の意味的階層関係、そして(7)のような二股枝分かれの統語構造が存在することを指摘している。

- (6) a. 私 長男 田中運送社長 田中健 が... (眞野 2017)  
b. ??長男 私 田中運送社長 田中健が...
- (7) a. [[ここ | [首都 東京]] では、連日猛暑日が続いています。 (ibid.)  
b. [[首都 | [ここ 東京]] では...

## 2.2. 英語の同格名詞句についての研究

英語の同格構造についてはその形態的特徴 (冠詞の存在・一致現象など) から研究が進んでいる。ただし、英語の同格構造は広く、様々な種類が存在する。日本語の同格名詞句に対応すると考えられるのは、完全同格(full apposition)、中でも同じ統語的範疇 (名詞句) に属するもの同士の同格(strict apposition)であり、かつ二つのイントネーション・ユニットに分かれるもの(loose apposition, cf. Heringa (2012)<sup>4</sup>)だと考えられる。

- (8) a. My brother Peter is still at college. (Heringa 2012: 3)  
b. My brother, Peter, is still at college.

### ➤ 英語同格名詞句の意味的特徴

- ・ Mayer (1992) : 同格構造の3つの側面から見た意味的特徴 (ただし、上記以外の範囲のものも含む) を指摘。

- (9) a. Semantic relations: coreference, part/whole relations, cataphoric reference, synonymy, attribution  
b. Semantic classes: identification, appellation, exemplification, particularization, characterization, paraphrase, self-correction, re-orientation  
c. Semantic integration: restrictive/ nonrestrictive

<sup>4</sup> 発表要旨内の Heringa (2011)は、Heringa (2012)の誤植であったため、ここに修正します。

- ・ Heringa (2012): 同格名詞句間の意味関係とコピュラ文のタイプ (predicational/ specificational/ equative, cf. Higgins (1979))の関連を指摘

➤ 英語同格名詞句の統語構造

Cardoso & De Vries (2010), Heringa (2012), Griffiths (2015): ある種の挿入的等位構造 (parenthetical coordinative)を仮定。

※英語の場合最初の名詞句が述語と一致するため、統語的主要部であるとの主張がある。

### 2.3. 残された問題

これまでに分かっている日本語同格名詞句の記述的特徴は、英語の同格構造の特徴と比較すると、どのようにとらえることができるだろうか。またそれらの特徴はどのような要因で起こっているのだろうか。

## 3. 日本語の同格名詞句の特徴

- 対象とする同格名詞句：同格名詞句の主なタイプ<sup>5</sup> (眞野 (2016) 表 1. a-f)  
(統語範疇としては、代名詞句+名詞句、名詞句+再帰代名詞句、名詞句+名詞句)

### 3.1. 同格名詞句間の意味関係

主張 1) 日本語同格名詞句間には、コピュラ文「AはBだ」の関係を仮定できる (再帰代名詞を含むものを除く)。

※「主題—解説 (topic-comment)」構造

- |                         |      |                          |
|-------------------------|------|--------------------------|
| (10) a. #ユウキロックさんはご本人だ。 |      | a'. *ユウキロックさんである／のご本人    |
| b. 我々は日本人だ。             | [措定] | b'. *我々である／の日本人          |
| c. 父は覚恵だ。               | [指定] | c'. 父である／の覚恵             |
| d. イギリス首相はチャーチルだ。       | [指定] | d'. イギリス首相である／のチャーチル     |
| e. ツアコンは藤木さんだ。          | [指定] | e'. ツアコンである／の藤木さん        |
| f. 隣国は美濃だ。              | [指定] | f'. 隣国である／の美濃            |
| g. 花の都はパリだ。             | [同一] | g'. 花の都である／のパリ           |
| h. 首位は近鉄だ。              | [指定] | h'. 首位である／の近鉄            |
| (11) a. ここは首都東京だ。       | [同定] | a'. *ここである首都東京 (cf. (7)) |
| b. 首都はここ東京だ。            | [指定] | b'. 首都であるここ東京            |

主張 2) コピュラ文の場合と同様に、措定・指定・同定のタイプが観察される。(10)

<sup>5</sup> 眞野 (2016)のデータは固有名詞を含む例のみだったため、それ以外の同格名詞句の有無を確認するため、BCCWJで両方の名詞句を普通名詞に限定した長単位検索を行い、88220件のデータを得た。その中からランダムに2000件を抽出し、確認した結果、固有名詞を含む表1で見られたもの以外に、同格名詞句の条件を満たすものは見つからなかった。そのため、基本的には眞野 (2016)のデータを使用する。

- コピュラ文「AはBだ」のタイプ (cf. Higgins 1979, 西山 2003, 岸本 2012) <sup>6</sup>
  - ・ 措定 (predication) — 措定文：指示対象 NP1 について NP2 で属性を叙述する。  
(指示的名詞句 + 叙述名詞句)
  - ・ 指定 (specification) — 指定文：NP1 で欠けている値に当てはまる値を指定する。  
(非指示的名詞句 + 指示的名詞句)
  - ・ 同定 (equative)：(指示的名詞句 + 指示的名詞句)
    - 同定文 (identificational sentence)：二つの名詞句が指すものが同じことを示す。
    - 同一性文 (identity sentence)：二つの名詞句が同一の指示対象を持つことを示す。

➤ 二股枝分かれ構造

- (12) a. [ここ | [ 首都 東京 ] ]では、連日猛暑日が続いています。 (= (7))
- └──────────┘ [指定]
- └────────┘ [同定]
- b. [首都 | [ ここ 東京 ] ]では...
- └──────────┘ [同定]
- └────────┘ [指定]

### 3.2. 同格名詞句に含まれる名詞句の特徴

主張 3) 同格名詞句には基本的に少なくとも1つ指示的名詞句が含まれる(総称文を除く)。本来的に指示的な人称代名詞や指示詞を含むもの以外では、基本的には固有名詞などが対象物を指示することになる。ただし、コーパスでは見つからなかったが、コピュラ文「AはBだ」の場合と同様、総称的な名詞句が生じることは可能であり、その場合は例外的に指示的名詞句が含まれない (cf. 西山 2003)。

- (13) a. ユウキロックさん ご本人                      b. 我々 日本人  
c. 父 覚恵    d. イギリス首相 チャーチル  
e. ツアコン 藤木さん                                      f. 隣国 美濃  
g. 花の都 パリ    h. 首位 近鉄
- (14) a. 百獣の王 ライオンは、群れで生活する。                      [総称的]  
b. 百獣の王 ライオンが象と戦っている。                      [指示的]

### 3.3. 説明可能となる現象

➤ 英語の同格名詞句との意味的共通性

➤ 日本語同格名詞句間の語順の制約

- (15) a. \*日本人 我々    b. #日本人は我々だ。  
(16) a. \*覚恵 父<sup>7</sup>    b. #角栄は父だ。

<sup>6</sup> それぞれのタイプについての用語は研究者によって多様である点は注意されたい。  
<sup>7</sup> 「覚恵 お父さん」は可能。このような呼称として使用できる親族名称や肩書の振る舞いについては様々な点で他の同格名詞句との差異が観察されるため、今後の課題としたい。

- (17) a. チャーチル イギリス首相                      b. チャーチルはイギリス首相だ。  
 (18) a. \*藤木さん ツアコン                              b. 藤木さんはツアコンだ。  
 (19) a. \*美濃 隣国    b. #美濃は隣国だ。  
 (20) a. パリ 花の都    b. パリは花の都だ。  
 (21) a. \*近鉄 首位    b. 近鉄は首位だ。

➤ 統語範疇だけで同格名詞句のタイプが決まらないこと。

眞野(2016, 2017): 「代名詞(指示詞を含む) + 名詞」の同格名詞句が属性叙述(措定)のタイプと主張。

→ 「(代名詞) は (名詞) だ」というコピュラ文と同様に、異なるタイプが存在する。

- (22) a. {我々/あなた方/彼ら} 日本人は… [措定]  
       b. \*{私/あなた/彼} 日本人は…  
 (23) a. {私/\*あなた/彼女} 眞野美穂 は… [同定]  
       b. {我々/\*あなた方/彼ら} 江口と眞野と岸本は… [同定]  
 (24) a. {これら/それら/あれら} 哲学書は… [措定]  
       b. \*{これ/それ/あれ} 哲学書は…  
       c. {ここ/そこ} 高千穂まで… [同定]

#### 4. 結論と今後の課題

本発表では、日本語同格名詞句にコピュラ文「A は B だ」に相当する意味関係を仮定することで、同格名詞句が表すことができる様々な意味を体系的に説明できることを示した。

#### 引用文献

- 岸本秀樹 (2012) 「日本語コピュラ文の意味と構造」影山太郎(編)『属性叙述の世界』pp.39-67. くろしお出版.  
 小林幸江 (1996) 「「同格」をめぐって」『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』22, pp.1-13.  
 西山佑司 (2003) 『日本語名詞句の意味論と語用論』ひつじ書房.  
 眞野美穂 (2016) 「日本語同格名詞句についての一考察—固有名詞が含まれる場合—」福田嘉一郎・建石始(編)『名詞類の文法』pp.21-40. くろしお出版.  
 眞野美穂 (2017) 「日本語の同格名詞句に見る意味的階層関係」関西言語学会第42回大会ワークショップ『名詞句が関わる指示機能と叙述機能』京都大学.  
 森山卓郎 (2016) 「名詞並置型同格構造」庵功雄・佐藤琢三・中俣尚己(編)『日本語文法研究のフロンティア』pp.65-82. くろしお出版.  
 Cardoso, Adriana & Mark de Vries. 2010. *Internal and External Heads in Appositive Constructions*. Manuscript, University of Lisbon & University of Groningen. [http://www.clul.ulisboa.pt/files/adriana\_cardoso/2010-appositive-constructions-webversion1.pdf]  
 Griffiths, James (2015) *On appositives*. Ph.D. dissertation. University of Groningen.  
 Heringa, Herman (2012) *Appositional Constructions*. Ph.D. dissertation. University of Groningen.  
 Higgins, F. Roger (1979) *The Pseudo-cleft Construction in English*. New York: Garland.  
 Meyer, Charles F. (1992) *Appositions in Contemporary English*. Cambridge University Press.  
 Quirk, R., S. Greenbaum., G. Leech, and J. Svartvik. (1985) *A Comprehensive Grammar of the English Language*. London: Longman.